行政全般への質疑

陸別町議会

新年度予算案審議を中心にしての定例第一回陸別町議会は三月十二日にひらき十九日に閉会しましたが、千葉町長と徳光教育長の行政執行方針とこれにたいする各議員の質疑のもようはつぎのとおりでした。

千葉町長 四十四年度の予算ができたので若干その考え方を述べたい、樺太と千島がなくなつた現在、日本一寒い町といわれているが、今日に至るまでの先人の労苦のたまもので昨年は五十周年記念事業として福祉センター、消防会館、生活改善センターなどができた、わずかづつ人口の流出があるが、五十一年を考え町の未来像の総合計画を策定したい、軸は町民が健康で豊かな生活を営み住みよい郷土が念願として人間尊重と産業振興と住民福祉のためだが四十四年度予算は財源には限りがあり義務的経費が増大しておりやりたいことは山ほどあるので編成は容易でなかつたが通常経費を節減して住民の向上をもとした(このあと予算大綱の説明がありました)

徳光教育長 重点事項は道と管内の教育行政方針を柱として地域性を入れた小学校は八四三人で五二人の減、中学校は四八二人で三四人の減となり陸中、小利別小がそれぞれ一学級減となるが上トマム、中トマムは教員増となる、教師の使命感に徹し校長を中心としてとりくむように研究指定校への助成、道外派遣二名分を計上した、小利別をモデル地区として公民館活動をすすめたい、文化活動を促進させるために文化賞を制定したい、高校の在り方は現時点では普通科でゆきたい、

西村議員 妊娠牛百頭、仔牛百頭を購入してトマム方面へというが北部へ一頭も入らないのか

千葉町長 配置その他は農協や酪農振興会とも相談する、ことしでおわるので

ないので、毎年バラまくのでなくことしはこの方面、来年はこの方面と、段々とゆかないところへゆく

大橋議員 国保税は昨年は一戸あたり一万六千円が本年二万円というが、対象の一、〇四五戸の半分は農家で農家は大なり小なり固定資産がありウエイトが農家にかかるのではないか

千葉町長 国保税は農家だけに高いのでなく所得割資産割、世帯割、人口割でゆくのでつり合いがとれており心配はない、運営委員会が各町村を調査して議会に提案している

自衛隊は町全体の考えで　千葉町長

林議員 町長が冒頭にふれた過疎化現象の対策はどうか、ゴミ処理の料金を五円あげて二十円とするのはなぜか

千葉町長 過疎化の現象は高校、大学へ出てゆく、本町を住みよい環境にするしかない、あまり減るので自衛隊をというが町全体をまとめて考えなければならない、ゴミ処理について昨年は途中であげられずすえおいたが、これくらいは我慢して頂きたい

矢鋪議員 五月一日からのゴミ処理は四、八〇〇人分で二二万八千円にしかならない、公害のひとつとして無料でやつているところもある、勤労者が大半なのでなんとか財源のヤリクリですえおいてもらいたい、車を白ナンバーにして賃金だけにすればよいではないか、保育園の現況はあの設備で一五〇ー一六〇名を収容して事故のある場合困る全部入園させず条例どおりに安全度をもつべきである四人の臨時保母の賃金をみてあげるべきで、朝七時から五時まで昼食時間もなく過労である、待遇をすべきでないか、市街の商工業者が建設した防犯灯の電灯料は商店街が負担している、電灯料の町補助を考えてほしい

千葉町長 ゴミ処理でかかるだけ全部とるわけでなく全町やるわけでなく市街だけなので、いまの方法で五円負担して頂きたい、保育園は検討したい、臨時保母の賃金は毎年あげてきている、電灯料は商店街で負担して頂きたい

すくない民有林の助成

桜井議員 野鼠駆除のヘリコプターは効果をあげたが昨年と同額か、霊きゆう車の補助は十万円だが五十万円くらいとの陳情ときいたが町の予算がギリギリのためか

千葉町長 野鼠駆除の補助は二二万五千円で同額をもつた、霊きゆう車は五十万円くらいの車を買うから補助してほしいというので車をみて十万円くらいが適当とした

佐々木議員 トマムに消防ポンプを入れ小利別に消防番屋を建てて施設しても水の問題が引つかかるがどうするか

千葉町長 水がなければ火は消えない、小利別の方は川の水をまわし便利となり貯水池的なものができた陸別の方も断水の場合もあり消防用井戸に補助があるので申請し新町方面につくりたい、部落の方は町の手でどうにもできないが池などをつくる場合は便宜をはかつている

新藤議員 一般会計の組み方は昨年より一、七〇〇万円増だがこれしか現在くめないのか、自動車練習所の場所を確保したが利用されないのか

千葉町長 やりたいものは山ほどあるが予見しうるものをもり追加財源もあり緩急の度合いから相談してゆきたい、自動車練習場は交通安全協会で町が土地を確保すればということだつたが附近に住宅も建ち練習場をつくつても免許はとれず、いずれ町へ返すという

竹内議員 国営パイロットの予算が思つたぐらいついたというが一月八日に情報をきいたとおりで、その後予算折衝に上京したのでこの額より獲得したかと期待したが同じ金額でトマム二億八千万円、小利別一億五千万円だから思うところまでゆかなかつたのではないか、民有林の育成で野鼠駆除に二二万五千円をくんだが木材引取税で一千万円もあげているのにあまりにもわずかでないか、町政懇談会での要望はこのなかにどの程度もられているか

千葉町長 パイロット予算は大体この程度でよかつたと悪つた、民有林は野鼠駆除だけで木引税にくらべてすくないというが、税金はヒモつきではなく国有林から入るのが大きく道路、橋梁もやつており、ことしは林業構造改善の事業計画を樹て来年以降七千万円の事業をする、町政懇談会での要望は八、九割はでき大きな問題は青写真の方で検討するしかない

(以下次号へつづく)

おてあげのビランベツ道々問題

本別　自民党支部が解決へ

昨年いらいのビランベツ道々問題は理事者も議会もお手あげの格好でしたが自民党本別支部長の岡崎克雄氏らの政治力でようやく解決へ向うという町村では珍しいケース。

主要道々新得ー本別線本別町地内ビランベツ地区の二、二キロの部分が坂道やカーブが多いために、この部分だけを押帯地区へ路線を変更したいのが道の方針で昭和二十三年いらい帯広土木現業所から町にたいして路線変更に同意の要請があつたが、変更となればビランベツ地区は町道に根下げとなるので部落は反対であるし、維持管理は町の負担となるので財政難のおりから歴代の町長はこの要請に応じてこなかつたところ、水元町長が登場した四十一年に部落と相説なくこの要請を受け入れてしまつたので部落は大さわぎとなつて町長へ反対を申し入れしたところ、すで道へ承諾したあとなので地元がさがげば路線は池田へもつてゆかれるからと逆に説得されたもので、フンマンやるかたなく自民党支部へ協力を求めたものでした。

同支部では管内選出の石畑道議(建設副委員長)や自民党道連の高橋幹事長を通じて町道への格下げ反対の運動をはじめる一方、支部所属八名の町議を通じて町議会毎にこの問題をとりあげる、その都度部落から二、三十名が傍聴におしかけるといつた状態がつづきました。

同支部の運動によつて道の態度も変つて、主要路線は押帯の方へ変更するが、その替りにビランベツ地区は町道に格下げはせずに一般道々にして改良してゆくことになつたので町側はホツとしてその線で部落をおさめてほしいと水元町長から野崎武町議を通じて同支部に依頼がありました。

水元町長にすれば道や現業所へは顔むけがならず、部落へ顔を出せばつるしあげられるといつた始末で、特に四十年の岡崎町長時代に「路線変更をしないように陳情する」ことを議決しているのに、それに反しているとの抗議にたいして水元町長や長谷川議長は『あれは本会議での議決ではなく単なる協議事項だ』と発言したことが問題となり、三月十二日にひらかれた定例町議会の冒頭に緊急動議としてとりあげられ、議決でなかつたとすれば当時部落へ議決証明書を交付した賀陽議長と木村事務局長は公文書偽造になるとして緊迫した場面となつて水元町長も長谷川議長も議決であつたことを認めて陳謝するという珍しい事態となりました。

これで議決を再確認して部落の主張を認めたものの現実には路線変更の事態となつているので十四日に再開の町議会に水元町長が議決変更を提案しようとして議会が〃半日空転〃した結果、岡崎支部長らが出札して道当局と折衝する間休会して二十日に再開することになりました。

岡崎氏ら同支部の幹部は部落の代表とともに十八日に出札、道議会開会中でしたが小寺道土木部長と一時間半にわたつて話し合い、実状をきいた同部長『路線変更云々の作業は白紙にしてビランベツ地区の改良工事をすすめる』と言明してその場で帯広土木在業所長に電話でその旨を指示し、さらに町が先走つて路線変更の議決などはしないようにとのことでした。

十九日に帰町した岡崎氏は水元町長に報告すると共にそろつて帯広土木現業所長を訪れてこんごの工事促進を要請してきましたが、政党支部が町の難問題を大会の決議にもとずいて政治力で解決に向わせるという日常活動ぶりは〃政争の町本別〃のよい面を示したものといえましょう。

社告

本紙創刊十五周年記念号についてご支援のほどお願い申しあげます

カメラ　八ミリ　写真材料
上野カメラ堂
上野復興　足寄駅通り　T四二〇

◎労働および社会保険法令にもとずく事務ならびに手続きの代行、指導相談◎行政諸官公署への申請届出、報告書類の作成手続◎企業経営調査、指導
◎損害保険取扱(共栄火災保険代理店)
豊田労務経営事務所　足寄町東一区　T七〇

総合建設
久保田組
久保田庄太郎　足寄町西区　T四四八

大自然のなかの人工美
ーいで湯のふるさとー
観光と保養の
♨芽登温泉
足寄町芽登　T二八五五

近代住宅に新建材!
家具建具製造販売
名種サッシ施工
新築、改築にご相談下さい
桜井建具店
桜井正夫　足寄町北五区T三六二

春物高級衣料から大衆衣料まで
豊富に入荷いたしまして陳列を完了いたしましたので御高覧御用命下さい。
なお近日中に京呉服展示会を、京都の初開き品を一堂に集めて行いますから御期待下さい
株式会社 前田呉服店
足寄駅前商店街　電話二二番

技術に生きる!
HIS MASTERS VOICE
世界のビクターマーク
テレビ
ラジオ
レコード
ステレオ
ーあらゆる電気器具ー
有限会社
ミネ・デンキ
足寄劇場　電話142番